

# 地域で活躍する子どもたち

～ 子ども参画型社会創造支援事業 ～

< 事業概要紹介・令和元年 8～9 月版 >

発行日：令和元年 10 月 9 日（水）

発行者：仙台市教育局

生涯学習支援センター

○ 今回は、8～9 月に訪問させていただいた 3 つの事業の様子をお伝えします。

## \* つるっこ画樹園 ～実れ<sup>つるっこ</sup>鶴心～【宮城野区】 < 鶴ケ谷市民センター・9/18（水） >

昨年度より鶴谷中学校と協議・検討を重ね、今年度からスタートしました。館長の熱意（中学生は、即地域の一員として活躍できる！中学生の持つ力は大きい。中学生が地域に関わる意義がある。）が、学校を動かしました。

本事業は、「みんなで支え育もう！鶴ケ谷の心を！」の一環として取り組まれています。地元鶴谷中学校美術部の生徒さんたちがメンバーです。この日は、12 月に開催する「写真・絵画展（仮）」について、展覧会の目的や持ち方について話し合いました。「地域の魅力・宝を、写真や絵を通して発信していこう」「ただ見て終わりではなく、来た人たちが楽しみながらつながれたら…」「中学校の科学部にも関わってもらったら？」などなど、たくさんのアイデアがでました。



顧問の大場先生

学校の声（美術部顧問・大場先生）：子どもたちは主体的に話し合いを行い、達成感を味わうことができましたようです。（中略）学校生活の中では活躍する場が少ない現状です。

このような機会を与えていただけることで、少しでも自信が付き、学校生活の中でも自分のよさを発揮できるようになるのではないかと思います。



中学生は、疑問が生じると、すぐ館長（写真中央）に質問します。「言葉と心」を紡いでいきます。

## \* チャイルドボランティア「チャボ！」【若林区】 < 若林区中央市民センター（区拠点館）・9/22（日） >



秋といえば…（栗ときのこと）



秋といえば…（りんごと柿）

この日は、事業開始時（平成 23 年度）から継続している「宅配弁当に添える手紙書き（9/25 配付分）」を行いました。3 つの小学校から、メンバーが集まりました。「学年が同じ」ということもあるのか、とても仲の良い 4 名でした。

※ チャボ！：小学校 4 年生～中学生まで登録しています。

兄弟姉妹の登録が多いことも特徴の一つです。

子どもたちは、お弁当を手手にされる方を思いながら、健康を気遣う言葉なども手紙につづりました。また、「秋らしいもの」を色々考え、手紙の挿絵として描きこみました。

この手紙には、お弁当のメニューや栄養素も記入します。学校ではまだ学んでいない漢字が出てくることもあります。見本を見ながら一生懸命書きました。

なお、この手紙は、お弁当を手手にされた方から「おたより（返信）」があります。手紙を介した交流・つながりも生まれています。



手紙の文面・挿絵は、子どもたちのオリジナルです。

## \* 見つける・伝える・ヒロセ川【太白区】 < 太白区中央市民センター（区拠点館）・9/14（土） >

今年度スタートした事業です。身近にあり、昔から多くの人たちに親しまれてきた「広瀬川」について改めて学び、魅力を発信していこうと考えています。



（和気あいあいとした雰囲気）

この日は、7 月に実施した「広瀬川に生息する生き物調査」と 8 月に実施した「広瀬川灯ろう流しに関する活動」についてまとめを行い、それをエフエムたいはくで発信できるようにと原稿作成を行いました。

「広瀬川に生息する生き物調査」では、実際に広瀬川に入り、そこに生息している様々な生き物（昆虫や魚）について調査しました。まとめでは、単に生き物を列挙するだけでなく、発見したり触れたりしたときの感動についてもまとめました。

「広瀬川灯ろう流しに関する活動」は、毎年 8 月に行われている「広瀬川灯ろう流し」について、その歴史を実行委員長から伺い、実際に 1000 個以上の灯ろうを制作しました。そのときに学んだことや制作秘話を原稿に盛り込みました。

子どもたちは、その道のプロ・達人に学び、本物・実物に触れる体験を通して、地域にある自然が宝物であることを学び、広く発信したいという意欲を高めています。

※ 「生き物調査」：カワラバン代表の菅原正徳氏に指導を仰いでいます。



全員読み方が上手です

○ 今回は、今年度スタートした事業と長く継続している事業についてお伝えしました。いずれの事業も、諸団体（NPO や学校）等とつながることで、子どもたちの豊かな学びの場を創出しています。「ヒト・モノ・コトとの新たな出会い」…市民センターだからできることが、そこにあります。（担当：事業係 門脇）

